

H22年度活動実績

◇ホームヘルパー2級養成研修講座		
第1回(土日コース)	5/15～ 9/4	<NPO法人りんりん、第二端光の里>
第2回(社会福祉協議会)	7/17 ～ 10/22	<雁宿ホール、日本福祉大学半田校>
第3回(平日コース)	10/5 ～ 2011.1/13	<知多市市民活動センター>
第4回(日福大コース)	2011.1/31 ～ 4/23	<日本福祉大学美浜校>
名古屋短期大学 通信コース	5/26～ 9/1	<名古屋短期大学>
◇ガイドヘルパー養成研修講座		
行動援護従業者養成研修課程	①6/20,7/4,11 ②8/26,27,28 ③3/13,19,20	<知多市市民活動センター>
◇介護福祉士対策講座	10/2 ～ 2011.3/4	<知多市市民活動センター>
◇NP0マネジメントセミナー	5回(5/21,6/18,7/16,8/20,2/21)	<知多市市民活動センター>
◇日本福祉大学NP0協働型サービスラーニング	2010.4 ～ 2011.3	<日本福祉大学美浜校>
◇知多市まちづくり人材育成事業「新・大人の学校」	2010.4 ～ 2011.3	<知多市市民活動センター>
「新・大人の学校」実行委員会	18回	<知多市市民活動センター>
地域活動フェア運営委員会	4回	<知多市市民活動センター>
◇すっきりわかるNP0入門講座	4回(9/8,10/13,10/27,12/8)	<知多市市民活動センター>
◇一宮市NP0講座「いちのみやまちづくりいろは塾」	6回(10月 ～ 12月)	<一宮市>
◇行政職員NP0現場体験研修	6日間×13人、5日間×2人、	<知多市市民活動センター>
◇大学生NP0インターンシップ	10日間×9人	<知多市市民活動センター>
◇名古屋短期大学講義「ボランティアワーク」	15回	<名古屋短期大学>
◇NP0現場見学バスツアー		
通常バスツアー	12回(毎月1回)	
オプションバスツアー	26回(随時)	
◇知多市男女共同参画社会行動計画策定事業	2010.4 ～ 2011.3	
策定委員会	5回(6/12,7/3,8/7,9/18,1/30)	<知多市市民活動センター>
◇愛知県NP0雇用状況等調査事業	2010.7 ～ 2011.1	
検討会議、有識者ヒアリング	6回(7/19,8/4,8/12,9/17,11/5,11/26,1/7)	
◇知多市市民活動状況調査	2010.10/5 ～ 2010.12/6	
ヒアリング	51回	<知多市内>
◇知多市梅まつり観光アンケート調査	2011.2/13 ～ 2011.3/6	
ヒアリング調査	24回	<佐布里緑と花のふれあい公園「梅の館」>
◇NP0アドバイザー		
知多市アドバイザー	113件(定例毎週水曜日、ほか随時)	<知多市市民活動センター>
東海市アドバイザー	22件(随時)	<東海市市民活動センター>
一宮市アドバイザー	13件(隔月1回)	<一宮市市民活動支援センター>
長久手町アドバイザー	6回(随時)	<長久手町まちづくりセンター>
◇運動クラブ「ふいつと」	9回(毎月1回 8月・1月休み)	<知多市民体育館>
◇市民活動センター運営会議	12回(毎月第1水曜)	<知多市市民活動センター>
◇理事会	7回(奇数月第4月曜、臨時)	<知多市市民活動センター>
◇役員会	4回(4/28,6/22,10/29,2/14)	<知多市市民活動センター>
◇スタッフ会議		
担当リーダー会議	12回(毎月1回)	<サポートちた>
全員ミーティング	12回(毎月1回)	<サポートちた>

【その他月別実績】

4月

26日	Ada-codaシェフ交流会	<Ada-coda>
27日	知多市市民活動センター交流会	<知多市市民活動センター>
	東海東京証券新人研修	
29日	ゆめじろう新事務所オープン	<ゆめじろう>

5月

11日	東海市(星城大1年生市内探索講座)	<星城大学>
	会計監査	<サポートちた>
14日	NPO担当者会議	
26日	あいちシルバーカレッジ 講師派遣	<豊橋市>
28日	サポートちた総会	<知多市市民活動センター>
	サポートちた会員団体交流会	
29日	NHK取材インタビュー ワンデイシェフシステム	<Ada-coda>
30日	行政訪問 知多市長・副市長	

6月

1日	行政訪問 知多市・半田市・常滑市	
2日	だいこんの里開所式	<NPO法人だいこんの花>
3日	一宮市NPO講座プレゼンテーション	<一宮市>
4日	行政訪問 阿久比町	
5,6日	中間支援全国大会	
10日	行政訪問 東浦町	
11日	行政訪問 県各課	
12,13日	第7回日本地域福祉学会 地域福祉優秀実践賞 受賞式	<新潟県>
14日	行政訪問 東海市	
21日	新・大人の学校 公開講座	
	行政訪問 南知多町・美浜町・武豊町	
21,28日	Ada-coda スイーツ教室	<Ada-coda>
22日	食品衛生責任者講習会	
27日	女性リーダー研修	<ウィルあいち>
	DENSO社会貢献イベント	<デンソー本社(刈谷市)>
29日	あいちシルバーカレッジ 講師派遣	<一宮市>
30日	都市計画マスタープラン策定委員会	

7月

1日	りんりん茶屋OPEN	<NPO法人りんりん>
4日	知多市協働提案事業	
	喫茶で国際交流	<Ada-coda>
5日	愛知県職員2年目現場体験研修合同研修	<県自治研修所>
	Ada-coda スイーツ教室	<Ada-coda>
11日	ゆいの会ヘルパー実技研修	<知多市市民活動センター>
21日	東海市職員研修	<東海市立商工センター>
	一宮市1%支援費制度フォーラム	<一宮市>

8月

3日	県テーマ別意見交換会	
5日	資金集めの講座(ifes知多版)	
13~16日	夏期休業	
17日	刈谷市役所・刈谷市市民活動センターインタビュー	
24日	知多市男女共同参画社会行動計画策定事業 庁内ヒアリング	
25~27日	リーダー研修会	<長野県 泰阜村>
28日	万年青会	
29日	知多市体育協会講座 講師派遣	
	知多市男女共同参画社会行動計画策定事業 庁内ヒアリング	
31日	一宮市com-café三八屋 オープニング	<一宮市>

9月

1日	知多市市制40周年式典 表彰	
9日	「地域力をたがやすフォーラム」企画会議	
10日	チャレンジちた経営プラン	
13日	トヨタ車体バスツアー下見	
14日	PSC会計基準学習会	
15日	千代田区社会福祉協議会視察	
19日	市民活動センター 部会	<ウィングあいち>
28日	知多市コミュニティアドバイザー会議	
29日	知多市地域福祉計画ヒアリング	
	Ada-coda取材(市広報 知多市市制40周年記念誌)	

10月	6日	大口町インタビュー	<大口町>
	7日	2市2町自立支援協議会就労部会	
	15日	「地域力をたがやすフォーラム」打ち合わせ	
	21,22日	第11回介護保険推進全国サミットinひがしうら	<東浦町>
	23,24日	第13回知多市健康福祉フェスティバル	<知多市市民体育館>
	27日	ソーシャルビジネス調査委員会	
	30日	中津川福祉医療ネットワーク 講師派遣	<中津川市>
		東海市まちづくり大会参加	<東海市>
	31日	日進ゆるやかネットワーク 講師派遣	<知多市>

11月	10日	ソーシャルビジネス委員会 コミュニティビジネス取材(対象サポートちた)	
	13日	知多市市民活動フォーラム	
	16日	知多市コミュニティアドバイザー会議	
	21日	まちの達人	<Ada-coda>
	26日	日本福祉大学 原田ゼミ視察	
	27日	「私らしくmeeting ちた 2010」	<半田雁宿ホール>
	30日	NPO講座(武豊町ゆめフルスポーツクラブ)	

12月	1日	あいちシルバーカレッジ講師派遣	<名古屋>
	2日	医看会	<半田雁宿ホール>
	5日	喫茶で国際交流	<Ada-coda>
	10日	新しい公共支援事業意見交換会 あいちシルバーカレッジ講師派遣	<岡崎市>
	11日	地域ささえあい研修会 in ちた	<NPO法人ゆいの会>
	17日	「地域力をたがやすフォーラム」打ち合わせ	
	21日	大府市居場所基金検討会	
	24,27日	知多市NPOサポートセンターあり方検討会議	
	12/28~1/5	年末年始休業	

1月	13日	名古屋市社協講師	
	14日	「地域力をたがやすフォーラム」打ち合わせ	
	15日	「地域力をたがやすフォーラム」	<クラシティ半田>
	17日	北海道さわやか来訪	
	18日	トヨタ車体来訪(プロボノ)	
	21日	あいちシルバーカレッジ 講師派遣	<名古屋>
	22日	NPO法人ボランティアネイバーズ フォーラム	
	23日	犬山市コミュニティ研修来訪	
	29日	知多市コミュニティリーダー研修会 尾張旭市団体交流会	

2月	1日	全国社協ワーキング会議	
	3日	県実務者会議	
	4日	国交省地域ファンドワークショップ	
	5日	東海市マンパワー講座 講師派遣	
	6日	知多市地域活動フェア	
	12日	知多市コミュニティリーダー研修会	
	14日	団塊シニアの社会参画事業(ハンス)研修会	
	16日	自立支援協議会	
	17日	あいち協働ルールブック推進フォーラム	
	18日	名古屋市社協講座	
	21日	NPOと行政の意見交換会(知多地域)	
	24日	知多市チャレンジちた経営プラン	
	28日	県職員2年目研修ふりかえり ヒアリング	

3月	3日	もやい吊り雛取材	<NPO法人もやい>
	9日	一宮市NPO講座報告会	<一宮市>
		県内支援センター情報交換会	<一宮市>
	10日	武豊町介護者をつどい 知多市NPOサポートセンターあり方検討会議	<武豊町>
	11日	東海市男女共同参画推進講座	<東海市>
	14日	フォーラム21震災ネットワーク会議	<NPO法人フォーラム21>
	19日	東海市まちづくり大会 常務理事会	<東海市立商工センター>
	26日	東海市市民交流プラザオープニング	<東海市市民交流プラザ>

22 年度事業報告



- 活動報告
- 事業報告一覽表

ホームヘルパー2 級養成研修講座

(通学)

期 間・場 所	下記の表の通り
対 象	大学生・高校生・市民
参 加 者	141 人

(通信)

期 間・場 所	下記の表の通り
対 象	名古屋短期大学 学生
参 加 者	17 人

	場 所	日 程	受講者数	内 容
通学	半田会場(NPO 法人りんりん・第二瑞光の里)	2010 年 5 月 15 日～2010 年 9 月 4 日	一般 38 人	講義・講習 100 時間 実習 30 時間
	半田会場(雁宿ホール)	2010 年 7 月 17 日～2010 年 10 月 22 日	一般 28 人	
	知多会場(知多市市民活動センター)	2010 年 10 月 5 日～2011 年 1 月 13 日	一般 35 人	
	日本福祉大学 美浜キャンパス	2011 年 1 月 31 日～2011 年 4 月 23 日	学生 40 人	
通信	名古屋短期大学	2010 年 5 月 26 日～2010 年 9 月 1 日	学生 17 人	レポート提出 17 科目 スクーリング 8 日間

高齢社会の加速に伴い、介護を必要とする方が急増しています。誰もが安心してらせる地域を目指し、ホームヘルパーはますます必要とされてきています。昨年同様土日コース(半田)、夜間コース(半田)、平日コース(知多)、日福春期講座(美浜)の計 4 回の講座を開催しました。

通信講座は講義 17 科目(58 時間分)を自宅で学習し、残りの 4 科目(42 時間)と面接指導(6 時間)をスクーリングという形で進めています。名古屋短期大学で、3 回目の開講となりました。

■□ 担当者のふりかえり □■

昨年度に続き、ヘルパー講座の申込状況はますますだ。最近感じることは 60 歳前後の男性の申込が多くなってきていることだ。これまで地域と関係を持ってこなかった男性が地域で貢献できるようになることはいいことだと思う。今後地域包括ケアシステムという、地域で保健・医療・福祉・介護が連携して 24 時間対応のサービスが受けられるような仕組みが進められていく。今後もヘルパー講座の需要は増えていくことだろう。(竹内)

介護福祉士対策講座

期 間・場 所	2010 年 10 月 2 日～2011 年 3 月 4 日 (筆記対策 6 日、実技対策 3 日) 知多市市民活動センター
対 象	福祉系高等学校卒業生 3 年以上の介護等の業務従事者 NHK 高等学校専攻の卒業生
参 加 者	10 人(筆記対策)、17 人(実技対策)

■□ 担当者のふりかえり □■

「今後の介護人材育成のあり方」が二転三転している。3、4 年前にはヘルパー2 級講座が無くなると報道され、急に受講申込が激減した。その後 2 級はなくなると言われ受講申込も回復した。次には 24 年度から介護福祉士の受験資格が、3 年の実務経験だけでなく、600 時間の研修が必要ということが決まったと報道された。ところが、これも 3 年延長、研修も 450 時間ということになった。質のよい介護職員を増やしたいというのが国の方針なのだろうが、高齢化がどんどん進み、現場が対応できないのが現状なのだろう。研修の義務化は 27 年度からということになったが、仕事をしながらの 450 時間の研修はかなり難しいし、費用もかかる。質のよい介護職員を増やす必要はあるが、仕事をしながら、無理のない研修ができるように考えて欲しいと思う。(竹内)

ガイドヘルパー養成研修講座(行動援護従事者養成研修講座)

期 間・場 所	下記の表の通り
対 象	会員・学生・市民
参 加 者	109 人

	日 程	会 場	受 講 者 数
第 1 回	2010/6/20-7/11	一宮市	38 人
第 2 回	2010/8/26-8/28	日本福祉大学／美浜校	30 人
第 3 回	2011/3/13-3/20	知多市	41 人

行動援護は、障害者自立支援法において障がい者福祉サービスのひとつとして明確に位置づけられ、知的障がいのみならず精神障がいを対象とした、より専門性の高いサービスに生まれ変わった。この研修において、行動援護のサービスに従事の資質の向上を図ることにより、障がいのある方々の地域福祉を支援し社会参加を実現する事を目的とする。

■□ 担当者のふりかえり □■

回を重ねるごとに参加人数が増えている。とくに遠方からの参加者が多く、大阪や静岡、愛知県内でも豊橋や春日井から受講申し込みがあった。行動援護の受給者は、東京・大阪・愛知の順に支給決定者が多いそうだが、その他の県では、行動援護の認定も進んでいないため、研修のニーズも少ないようだ。

数少ない研修事業者として、今後も定期開催を年 2 回と、事業所や地域のニーズに合わせて随時開催できる体制を取って行きたい。

(五十嵐)

生活支援員研修

日 程	2010 年 7 月～2010 年 8 月(講義 8 日・現場体験 3 日)
場 所	知多市市民活動センター
対 象	阿久比町内小学校 4 校の生活支援員、市民
参 加 者	13 人(生活支援員 4 人含)

阿久比町の小学校 4 校の生活支援員の研修を開催した。午前には学校・子どもに関わる活動をおこなっている方や経験のある教師による講義やワークショップ、午後に講義内容に関する意見交換会を行った。



【講義】 擬似体験の様子

【現場体験】

NPO 法人りんりん

NPO 法人生活支援センターわたぼうし

NPO 法人みんなの家ほっと

1	7月22日	現代社会の子どもたち
2	7月26日	子どものこころを聴く方法
3	7月29日	保健室から見える子どもの姿
4	7月30日	子どもの多様性に対応する方法
5	8月 2日	からだで感じるコミュニケーション・ワークショップ
6	8月 4日	外国人児童を理解する
7	8月 6日	発達障害ってどんな障害？
8	8月24日	体験学習による教育

■□ 担当者のふりかえり □■

生活支援員といっても学校によって仕事の内容は様々だが、特別支援学級の子どもの支援が多いようだ。生活支援員になるのに特に資格は必要なく、自閉症・発達障がいの子どものと付き合うのに障がいなどの知識も全く無く仕事をやらなくてはいけないのは大変だと感じた。今回の講座は生活支援員にとって、とても役に立ったという感想を聞き、阿久比町の生活支援員だけでなく、他の市町村の生活支援員の方にも参加していただけるとよかったなと思った。

(竹内)

NPO現場見学バスツアー

NPO 現場見学バスツアーは、知多半島にあるNPO の現場を参加者の目で見えて、聴いて、感じてもらう事を目的として開催している。会員団体の中から 4 団体を毎回見学し、代表者から活動について説明を受ける。

(定例バスツアー)

日 程	2010 年 4 月～2011 年 3 月(全 12 回)
場 所	知多半島内のNPOのうち 1 回に 4 団体
対 象	市民
参 加 者	115 人

4 月：9 人	5 月：2 人	6 月：17 人	7 月：8 人	8 月：16 人	9 月：16 人
10 月：8 人	11 月：20 人	12 月：7 人	1 月：2 人	2 月：5 人	3 月：5 人

(オプションバスツアー)

日 程	右表の通り
場 所	定例バスと同様
開催回数	26 回
参 加 者	444 人

これは、ニーズに応じて、別注で企画し、人数によって小型バス、中型バス、また遠方からのバスに同乗し案内するなど、臨機応変に対応するツアー。

サポートちたの研修やイベントに組み込んだものもあれば、他の組織が企画した研修のプログラムの一つとして利用されるなど、これから何かを始めようと思っている市民の背中を押す力となっている。

■□担当者のふりかえり□■

平成 14 年より始まった定例の NPO 現場見学バスツアーも、おかげさまで今年度 8 月に 100 回目を迎えることができました。1 回も欠かすことなく継続できる知多地域のネットワークに感謝しています。他に類のないこのネットワークと、各代表の団体への熱い想いを感じていただき、参加者自身のやりたい気持ちを奮い立たせるものとなっているように思います。

また、参加者からの紹介よりオプションバスツアーを企画することができ、人のつながりから広がることを実感しています。今後も行政・企業・市民団体等、たくさんの方々の研修にご活用いただければと思います。

(江端)

日程	団 体	参加者
5/6	日本福祉大学サービスマーケティング×3	71 人
5/25	みよし市職員	20 人
6/3	NPO法人知多地域成年後見センター	13 人
6/6	株式会社デンソー	19 人
6/13	〃	22 人
6/18	NPO法人SKIP	5 人
7/13	新・大人の学校	24 人
7/27	可児市	22 人
7/30	愛知県職員	4 人
8/22	NPO 法人こももネット	2 人
8/25	寝屋川 たすけあいの会	2 人
10/16	トヨタ車体株式会社	5 人
10/20	NPO 法人 FA	22 人
10/27	尾張旭市市民活動センター	14 人
10/28	南粕谷コミュニティ	22 人
11/8	愛知県シルバー人材センター	10 人
12/4	トヨタ車体株式会社	7 人
12/9	日本福祉大学(社会福祉学部)原田ゼミ	23 人
12/13	佐賀 しょうがい生活支援のすみか	15 人
12/18	トヨタ車体株式会社	11 人
12/20	東浦町職員	18 人
12/21	東浦町職員	13 人
1/20	日本福祉大学・佐渡市職員	5 人
1/25	愛知県シルバー人材センター	7 人
2/25	東浦町役場(コミュニティ)	22 人
3/22	日本福祉大学サービスマーケティング×3	46 人

NPOマネジメントセミナー

期 間	2010 年 5 月～2011 年 2 月
場 所	知多市市民活動センター
対 象	市民・市町職員・社会福祉協議会職員等
テ ー マ	成熟した市民社会を目指した新たな展開
参 加 者	延べ 102 人



第 1 回講座の様子

	日程	テーマ	講師
1	5月21日	新しい公共のボランティアと NPO の役割 「地域福祉とまちづくり」	久保田久代(NPO法人はっぴいわん大府代表)
2	6月18日	地域の連携が公共サービスを向上させる 「協働による新しい福祉」	平岩佳代 (知多市市民協働課)
3	7月16日	地域の課題をかんがえる① 「家族・地域・社会の関係」	小藤あけみ (NPO 法人ゆめじろう副理事長)
4	8月20日	地域の課題をかんがえる② 「歩いて行ける地域の交流の場」	松下典子(NPO 法人地域福祉サポートちた理事)
5	2月21日	NPO と行政との意見交換会	大野裕史 (NPO 法人 NPO 愛知ネット事務局長)

知多市 NPO 連続講座

期 間	2010 年 9 月～2010 年 12 月
場 所	知多市市民活動センター
対 象	市民
テ ー マ	市民協働のまちづくりに資する NPO の理念 や意義を学ぶ
参 加 者	延べ 68 人



第 1 回講座の様子

	日程	テーマ	講師
1	9月 8日	NPOのミッションとは	松下典子 (NPO法人地域福祉サポートちた理事)
2	10月13日	団体のルールと活動計画の作成	岡本一美(NPO法人地域福祉サポートちた代表理事)
3	10月27日	コミュニティービジネスいろいろ	久野美奈子 (NPO法人起業支援ネット代表)
4	12月 8日	NPOのマネジメント	面高俊文 (NPO法人パートナーシップサポートセンター理事)

■□担当者のふりかえり□■

「ボランティアしたい」「地域活動を盛り上げたい」「活動の悩みを分かち合いたい」「団体を立ち上げたい」「法人化を検討したい」「組織運営を向上させたい」等を考えている市民を対象に、前期は応用編として活動実践者を講師に迎え、後期は基礎編にテーマを絞った内容を実施。後期は知多市「新・大人の学校」からの参加が多く、NPOの理解促進とともに、団塊の世代の地域デビューに貢献できた。(市野)

日本福祉大学 NPO協働型サービスラーニング

期 間	2010 年 4 月～2011 年 3 月
場 所	日本福祉大学 美浜キャンパス
対 象	日本福祉大学 2 年生
参 加 者	64 人(5 クラス)



日本福祉大学社会福祉学部 2 年の学生が知多半島にある NPO 法人で社会活動を行い、気づきとふりかえりを積み重ねながら、「学ぶ、繋がる、やり遂げる」力を高め、「市民性」を育むこと、知多半島の地域活性化につなげることを目的としています。

《活動内容》

①地域ニーズの把握 今日の地域社会の生活課題を調査、把握する。	◆活動前の事前訪問①(4 月 7 日～4 月 31 日) ◆NPO 現場見学バスツアー(5 月 6 日) ◆活動先との事前打ち合わせ会(6 月 2 日)
②社会貢献の企画 自分たちに何ができるかを具体的な企画として提案	◆サービスラーニング第 1 期生徒の学習交流会(6 月 16 日) ◆活動開始前の事前訪問②(7 月 1 日～7 月 31 日)
③社会貢献活動 実際の地域の中で貢献活動を実施	◆現場での活動(8 月 5 日から 9 月 16 日までの間、原則 6 日)
④活動のふりかえり 活動前と活動中の気づきや学びを丁寧にふりかえる	◆活動修了後のふりかえり(2010 年 10 月 20 日)
⑤学習のまとめ 関係者を一同に会して学習成果のプレゼンテーションを行う	◆活動報告会(2010 年 12 月 18 日)

《フォーラム》

■ サービスラーニングフォーラム 11 月 3 日

昨年に引き続き、ボランティア活動推進国際協議会事務局長のキャサリン・デニス氏をアメリカからお招きし、講演していただきました。

■ 教育 GP フォーラム～トライアングル・リフレクションによる学びの拠点形成～ 2 月 17 日

3 年間実施した取り組みの総括として開催されました。活動してきた関係者だけでなく、同じような取り組みをしている明治学院大学、愛知淑徳大学の方にも参加してお話していただきました。

【活動先 NPO 一覧】

あんだんて 絆 ふれ愛 学童保育ざりがにクラブ あかり みんなの家ほっと もやい エンドゴール
ブレマクラブ 共育ネットはんだ 生活支援センターわたぼうし りんりん ふわり ひだまり 孝行の会
ベタニアホーム 菜の花の家 らいふ ぱお ゆめじろう チャレンジド ふれあいネットワーク美浜
知多地域成年後見センター 地域福祉サポートちた (計 24 団体)

■ □ 担当者のふりかえり □ ■

子育て支援をしている 4 団体を新たに追加しての活動となった。2 年目となり、どの団体も 1 年目に比べると慣れたようで、昨年に比べてスムーズに進めることができた。学生が関わったからこそできた企画もあり、団体にとっても、学生にとっても実りある取り組みだと感じた。サポートちたにも 2 名の男子学生が来てくれた。ホームページをもっていない団体の団体紹介をサポートちたのホームページに掲載すること、サポートニュース作成等をやってもらった。サポートちたをよく知ってもらうためにマスコットキャラクターも公募して作ってもらった。これは学内のデジタルコンテストで特別賞をいただいたということだ。文科省の教育 GP は 22 年度で終わりだが、23 年度以降もサービスラーニングは続いていく予定なので、今後も活動先団体の皆様にご協力をお願いしたい。(竹内)

愛知県NPO雇用状況等調査

日程	2010年7月～2011年1月
目的	愛知県認証NPO法人について、雇用形態・給与水準・人員配置・人材育成方法等を調査することで、NPOにおける人材の確保・育成・定着のための実態と課題を把握し、愛知県の今後のNPO施策の推進に役立てる。
構成	<p>第1章【団体調査】 愛知県認証の全NPO法人に、働き方・雇用の実態を調査</p> <p>第2章【スタッフ調査】 第1章の回答団体から対象団体を設定し、職員・役員を対象に働き方・雇用に関する調査(回答団体数:55団体)</p> <p>第3章【ヒアリング調査】 NPOの雇用環境の充実に向けたモデルを検討する(12団体)</p> <p>第4章上記の調査内容、及び有識者による検討・ヒアリングを行い、課題と今後に向けての提言</p> <p>※(N)ボランティア・ネイバーズとの協働受託事業で、サポートしたのは【スタッフ調査】を実施。</p>

■スタッフ調査■

【概要】 団体調査の回答団体の中から対象団体を設定し、全体傾向・平均値を示すと共に、スタッフの年代・性別・雇用形態・給与月額等による傾向を分析した。

【課題と展望】

労務管理改善	<p>●各種手当(交通費・扶養・家族・資格手当等)の充実を図る。 ●定期的な資金体系の見直しをする。</p> <p>●安心して働ける環境を整備する。 ●柔軟な勤務時間の設定をする。</p>
組織運営改善	<p>●団体の体力に見合わない事業展開を改善する。 ●適切かつ効率的な人員配置(例:人員を増やす、仕事量の偏りを防ぐ)を行う。 ●不透明な組織運営の改善(例:組織の役割の明確化、役割の把握と責任)を図る。 ●組織運営の情報を所属団体で活動する人に公開(透明化)する。</p>
若手の人材育成	<p>●ボランティアの高齢化による担い手不足(将来への不安)を解消する。 ●意見の偏りを防ぐ。</p> <p>●若手育成期間中の生活保障、補助員の充実。 ●仕事のマニュアル化、先輩指導の充実、勉強会の開催。 ●企業を対象としたインターンシップの開催。</p>
NPOの理解促進	<p>●地域の行事に参加し、NPOの活動を広める。 ●企業や他の公益法人との違いを理解してもらい、NPOの信頼を高める。 ●NPOで働くということは、きちんとした就職・仕事ではないという社会の認識を変えていく必要がある。</p>
人間関係の改善	<p>●ワンマン経営(上層部が現場の意見に耳を貸さない)を改善する。 ●「個」を尊重する気風を育てる。</p> <p>●スタッフ同士が情報交換や意見を出し合う機会を作る。 ●組織の拡大による、基本理念・コミュニケーション不足を解消する。</p>
他組織との連携	<p>●他のNPOとの交流を通して、視野を広げる。 ●行政との協働をすすめる。 ●企業からの人的資源や資金の援助をうまく活用する。</p>
構成員のスキルアップ	<p>●個人の得意とすることを生かせる組織づくりをする。 ●中立的、第3者的立場として、分野の専門性、現場の実態把握の必要性を認識する。 ●プロ意識の向上を目指し、学んだことを実践する場を提供する。</p> <p>●適正に評価をし、昇給等に反映させる仕組み作りを行う。</p>

【安定した雇用体制の強化のために】

- ①若者の雇用環境整備:組織内で若者が継続できる体制づくり・組織を超えてネットワーク形成。
- ②シニア層の参加促進:ボランティア、雇用の仕組み・「プロボノ」システムの構築。
- ③地域内における多世代の人材交流。

■□ 担当者のふりかえり □■

今回の調査対象(N=595)の内、2004年に行った知多地域の先行調査が約37%重複しており、前回調査との推移や比較ができた。回答者の属性や意識では目立った変化はなく、活動の中から自らの居場所を確認し、自分の立ち位置や充実感といったやりがいを感じている。市民が安心して暮らせる地域社会づくりの担い手として活躍できる場がNPOであると確立されつつある一方、NPOには雇用環境改善が求められている。NPOが多様な人材や価値観を受け入れながら活躍の場を広げ、「新しい働き方」を創造する支援を行っていく。(市野)

地域をたがやすフォーラム

(「白寿会」助成事業)

テーマは、「ささえあいの居場所づくり ～2025 年を考える～」

世界に先駆けて超高齢社会に突入する日本では、2025 年には団塊の世代が 75 歳以上となり、後期高齢者の爆発的な増加が見込まれます。少子化と相まって、今後ますます多様な主体の協働による「ささえあうしくみづくり＝地域力」が求められます。

昨年度、愛知の受託事業として実施した「要介護状態の高齢者のための地域の交流の場づくり」に関する協働ロードマップ策定のための「協議の場」や昨年度から今年度にかけて開催された知多地域関係市町における「協議の場」において、地域力を育むためには、こうした居場所を歩いて行けるエリアに 1 つずつ増やしていくことが有効だということが、NPO、行政、社協、地域包括支援センター、地縁型組織など関係者で共有されました。そこで、居場所を知多地域にさらに拡充し、今後の知多半島の地域力をさらにたがやし、住民自治を推進するために開催しました。

日 程	2011 年 1 月 15 日
場 所	半田市市民交流センター(クラシティ半田 3 階)
対 象	市民・NPO関係者・市町職員・包括支援センター職員
参 加 者	述べ 173 人
プログラム	<p>■基調講演「2025 年 どうなる？ どうする？」 荒川英雄氏(厚生労働省 社会・援護局地域福祉課課長補佐)</p> <p>■トークセッション「地域力をたがやす～ささえあいの居場所づくり～」</p> <p>■意見交換会 テーマ 「社協との連携」「資金(ファンド)」「地縁再生」「居場所の可能性」 「地域のコーディネーター」</p>



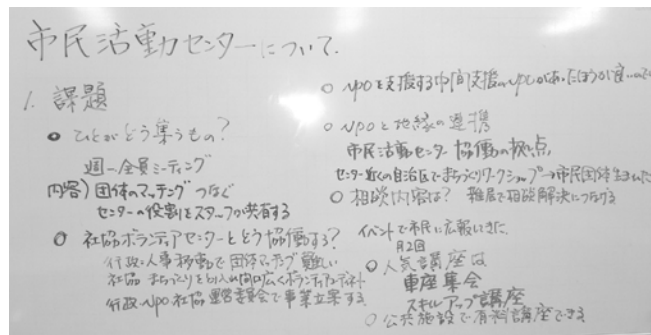
■□担当者のふりかえり□■

フォーラムには延べ 173 人の参加があり、NPO・社会福祉協議会・行政・地縁関係者・市民が一堂に会した。第 1 部は、2025 年に向けて住民自治への協働の必要性を地域福祉の観点から伝えられた。第 2 部前半では、居場所づくりの実践事例をそれぞれの立場で伝えられ、また後半は参加者とともに、①開設場所・資金 ②地縁型組織との連携 ③行政との連携 ④地域コーディネーターの役割 ⑤居場所の可能性、の 5 つの分科会に分かれ話し合った。居場所開設の背景も話し合われる中、90 年代より活動を始めた知多地域の NPO のニーズの捉え方を、20 年以上経った今、確実に社会が気づき市民力が動き出している。

(市野)

NPO と行政の意見交換会

日 程	2011 年 2 月 21 日 13:30～16:30
場 所	知多市市民活動センター 会議室
対 象	行政、社会福祉協議会、NPO 関係者
参 加 者	30 人 ・NPO 16 人 ・行政 13 人 ・社会福祉協議会 1 人



内 容	『市民活動センターの果たすべき役割と協働事業のすすめ方』 講演「新しい公共ってなに？～共存協働のまちづくり～」 NPO 法人 NPO 愛知ネット事務局長 大野 裕史氏 意見交換会 ～テーマ～ 「協働の取り組み～居場所づくり～」 「市民活動センターについて」
-----	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

愛知県内支援センター情報交換会

日 程	2011 年 3 月 9 日 14:00～16:30
場 所	一宮市スポーツ文化センター 2 階 研修室 2
対 象	愛知県内NPO支援センタースタッフ、中間支援団体職員
参 加 者	20 人 ・NPO支援センタースタッフ 12 人 ・中間支援団体 4 人 ・行政 3 人 ・社協 1 人

内 容	①各市町支援センターの現状調査報告 犬山市民活動支援センターの会より、助成制度・自治基本条例等を予めアンケート調査し、まとめたものを基に、各センターの運営内容を発表した。 ②意見交換会 ～テーマ～ 「管理運営方法について」 「センターの課題」 「センターで取り組むべきこと」 ③「三八屋」見学 一宮市本町にある com-café「三八屋」へ場所を移動し、コミュニティ活動拠点の見学説明
-----	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

■□担当者のふりかえり□■

センター運営に関わるボランティアの広がりやつながりを重要と考えており、より円滑なセンター運営にするために、コーディネーターの役割や運営協議会の強化が求められている。また、「モチベーションの保持」「ミッションの共有」「有償か、無償か」といった課題も出された。しかし、支援センターが地縁組織と NPO のつなぎ役を担い、自治会のイベントや NPO のフォーラムでお互いが顔つなぎすることの大切さを共有できた。

今年度より各市町の持ち回り開催となっている。次回会場の半田市は、支援センターの運営主体が社協となり、今年度 4 月より社協・支援センター・ボランティアセンターが一本化した。先進的な取り組みを中心に情報交換を行うことで、県内支援センターの機能強化に寄与したい。

(市野)

～手づくりカフェ～ Ada-coda

期 間	2010 年 4 月～2011 年 3 月
場 所	知多市市民活動センター 交流室
内 容	カフェ事業の運営・企画、教室事業の運営・企画
来 所 者 数	4,769 人
従 事 者	38 人

手づくりカフェ「Ada-coda」は、誰もが自分の色で輝ける場づくりを理念とし、老若男女を問わず幅広い層の登録シェフによって「食」を通してコミュニティづくりを行っています。

■□担当者のふりかえり□■

今年度は、シェフによるスイーツ教室開催や産業まつり時のコラボレーション弁当販売の企画・運営をし、大好評に終わった。自分のやりたい事を形にしたいというシェフみんなの思いが1つになった様に思う。今後も、食を通じたシェフネットワークを大切に育てつつ、たくさんのお客様に足を運んでもらえる様に努力していきたい。

(南出)



知多市障がい児運動クラブ「ふいっと」

期 間	2010 年 4 月～2011 年 3 月
場 所	知多市市民体育館
対 象	知的障がいのある子ども サポートボランティア
参 加 者	子ども延べ 120 人 ボランティア延べ 136 人

「ふいっと」では子どもたちとボランティアが1対1で関わる事を基本として、障がいのある子がわかりやすいプログラムを組んでいます。音楽に合わせて体を動かしたり、ボール・フラフープなど使って運動したりと、日頃の運動不足を解消できる楽しい時間です。学生や地域の方との関わりは、彼らの障がい特性を理解してもらう良い機会となっています。

定例会 10 回(4/3 5/1 6/12 7/31 9/4 10/30 11/13 12/4 1/29 3/5)

日程	行 事 名	内 容
6/12	交流会(しあわせ村)	メンバーとボランティアでしあわせ村の公園のごみ拾いをしながらの交流
11/1	遠足(あいち健康プラザ)	初めてバスを使用しての遠足 普段と違った場所での地域の方たちとの交流
12/4	クリスマス会	クリスマスプレゼントを準備し、メンバー・ボランティアで交流

■□担当者のふりかえり□■

8年目の活動に入り、初回から参加しているメンバーは20代の青年になっている。初めて、ボランティアで公園のゴミ拾いを体験したり、遠足に出かけてみたりと、屋外の活動を増やしている。高学年は環境や内容が変わっても、あまり問題がないようであるが、小学生は、いつもと違うことに対してパニックになるときがあった。今後、メンバーが混乱することなく楽しめるプログラムを、ボランティアと一緒に提供していきたい。

(五十嵐)

22年度 特定非営利活動法人地域福祉サポートちた事業報告

「特定非営利活動事業」

事業項目/事業名	事業内容	受益対象者	実施場所/時期
I 人材育成・研修事業			
(1) ヘルパー養成講座	安心と豊かさの実現できる在宅サービス、地域福祉を担うヘルパーを育成 県の認定に準じたカリキュラムの実施		
1 ホームヘルパー2級養成研修講座(通学)	ホームヘルパー養成	会員・大学生・高校生・一般市民 141人	知多市民活動センター(知多市)/年1回、NPO法人りんりん(半田市)/年1回、日本福祉大学美浜キャンパス(美浜町)/年1回、半田市社会福祉協議会(半田市)/年1回
2 ホームヘルパー2級養成研修講座(通信)	ホームヘルパー養成	学生 17人	名古屋短期大学通信課程/年1回
3 ガイドヘルパー養成研修講座(行動援護従業者養成研修課程)	ガイドヘルパー養成	会員・学生・一般市民 109人	知多市/年1回、日本福祉大学/年1回、一宮/年1回
4 介護福祉士対策講座	介護福祉士受験の筆記試験と実技試験に対する対策講座	会員・学生・一般市民 27人	知多市民活動センター/年1回
(2) NPO人材育成	NPOについて市民をはじめ、行政・企業の人々に学びときっかけ、実践の機会の場提供 また、団体設立、運営にかかわるリーダー、スタッフの育成		
1 NPOマネジメントセミナー	NPO組織運営、事業経営に関する入門講座	NPO従事者・一般市民 行政・社協職員 延べ102人	知多市民活動センター/ 5月～H23.2月(4回) クラシティ半田/8月(1回)
2 日本福祉大学 NPO協働型サービスラーニング	学生を対象とした、市民としての責任意識を育むための教育プログラム	学生 64人	日本福祉大学、知多半島内のNPO活動現場/4月～H23.3月
3 知多市まちづくり人材育成事業 「新・大人の学校」(知多市委託)	団塊の世代を中心に地域活動の担い手を育成する講座	一般市民 26人	知多市民活動センター/ 4月～H23.3月
4 小学校生活支援員研修「こども支援者のためのABC」(もやい委託)	現在の学校における子どもたちの現状と課題を整理し、解決策を考える研修講座。	阿久比町 小学校生活支援員、 一般市民延べ52人	知多市民活動センター/7～8月 (8回)
5 協働のまちづくり事業「すっきりわかるNPO入門講座」(知多市委託)	NPOの入門講座	一般市民 延べ68人	知多市民活動センター/9～12月 (4回)
6 一宮市NPO講座「いちのみやまちづくりいろは塾」(一宮市委託)	市民活動への新たな一歩を踏み出せる人材の発掘・育成	一般市民 延べ66人	一宮市/10～12月(6日間)
7 インターン受け入れ	行政は協働、学生は就労を目的に、NPOの理解促進を図る現場体験。	行政職員15人、学生9人、教職員1人、 NPO1人	知多市民活動センター/愛知県職員7月～12月(6日間)・大府市職員8月(5日間)・名古屋短期大学7月・H23.2～3月(10日間)・岡田小学校7月(3日間)・アスクネット8月(2日間)
8 東海東京証券新人研修(知多社会福祉協議会委託)	新入社員研修として、福祉NPOの現場を体験し、サービスの基本姿勢を身につける。	東海東京証券 新入社員 65名	知多半島内のNPO活動現場/4月27日
9 団塊シニア社会参画ガイド事業(ハート&ハンズ助成)	地域の拠点づくりとリーダー育成研修	一般市民、 研修参加20人	知多市民活動センター/ 9月～H23.3月

10	知多市協働促進事業(知多市委託)	コミュニティとNPOが相互の目的や活動内容を理解し、新しい協働の形を考え合う研修	知多市内コミュニティリーダー、NPO関係者、行政職員延べ59人	知多市市民活動センター/1月29日・2月12日
11	名古屋短期大学講義	ボランティアとは何かをテーマに社会のあり方や生き方について考えを深めるための講義「ボランティアワーク」に講師派遣	学生 多数	名古屋短期大学(豊明市)/4～9月
12	東海市男女共同参画啓発事業	市民を対象とした男女共同参画の意識啓発の冊子作成	企業3社、NPO3団体	9月発行、配布
(3) NPO現場見学バスツアー				
1	通常バスツアー	定期的に行う見学ツアー(26人用・8人用)	会員・学生・一般市民115人	知多半島のNPO組織/年12回
2	オプションバスツアー	希望に応じてプランを作成するオプション見学ツアー	会員・学生・一般市民444人	知多半島のNPO組織/年22回
II 情報・交流促進事業				
(1)	会報発行	ニュースレター「SUPPORT NEWS」の発行	会員・学生・一般市民多数	本法人事務所/年6回
(2)	情報交流スペース提供	各会員等の広報誌やイベント案内チラシ等を掲示し、広報する	会員・学生・一般市民多数	知多市市民活動センター/通年
(3)	WEBサイト管理	本法人ホームページの管理、情報提供	会員・学生・一般市民多数	本法人事務所/通年
(4)	会員交流会	本法人会員交流会の開催	会員 多数	知多市市民活動センター/5月28日
(5)	愛知県内支援センター情報交換会	各市町支援センターの現状調査報告と4つのテーマに分かれた意見交換会	NPO支援センタースタッフ・中間支援団体・行政職員20名	一宮市スポーツ文化センター/3月9日
(6)	リーダー研修	■「高齢者共同住宅」と付属施設地域交流センター」での宿泊研修	理事9人	長野県泰阜村8月26,27日
III 調査研究・提言事業				
(1)	知多市男女共同参画社会行動計画策定事業	知多市民を対象とした男女共同参画に関する住民意識調査より、行動計画策定	一般市民・NPO関係者・行政職員 14人	知多市市民活動センター/5回
(2)	愛知県NPO雇用状況等調査事業	新しい公共の担い手としてNPOが健全に発展する基盤づくり調査・提言	検討(NPO2者・有識者・行政職員)13人 スタッフ調査回答55団体595人	あいちNPO交流プラザ、VNS、サポートちた 県HP掲載H23.4月
(3)	知多市市民活動団体調査	知多市市民活動センター登録団体への意識・活動調査	アンケート調査155団体 ヒアリング調査51団体	知多市内ヒアリング、知多市市民活動センター/8月～3月
(4)	知多市梅まつり調査	知多市佐布池梅林の観光啓発・意識調査	調査対象一般市民1027人	知多市佐布池梅林

Ⅳ 啓蒙啓発相談事業				
(1)	地域力をたがやすフォーラム ((財)白寿会助成)	「ささえあうしくみづくり＝地域力」の向上を推進するためのフォーラムを開催	市民・NPO関係者・市町職員・包括支援センター職員 述べ173人	半田市市民交流センター (クラシティ半田3F)
(2)	知多市NPOアドバイザー事業 (知多市委託)	NPO法人設立や市民団体の運営、まちづくりに関する諸問題について相談	一般市民 107人	知多市市民活動センター/週1回・随時
(3)	東海市NPOアドバイザー事業 (東海市委託)	NPO法人設立や市民団体の運営、まちづくりに関する諸問題について相談、講座・研修	NPO、一般市民延べ18人、市職員研修多数、星城大学生研修多数	東海市市民活動センター/随時 東海市商工センター1回
(4)	一宮市NPOアドバイザー事業 (一宮市委託)	NPO法人設立や市民団体の運営、まちづくりに関する諸問題について相談	一般市民 8人	一宮市市民活動センター/年6回
(5)	長久手町NPOアドバイザー事業 (長久手町委託)	NPO法人設立や市民団体の運営、まちづくりに関する諸問題について相談	一般市民 26人 協働研修 22人	長久手町まちづくりセンター/年4回
(6)	NPO法人設立・運営相談	NPO法人設立や市民団体の運営、まちづくりに関する諸問題について相談	一般市民 多数	本法人事務所/通年
(7)	行政訪問	知多半島5市5町の行政機関訪問	知多半島内の行政機関	知多半島内 随時
(8)	第13回知多市健康・福祉フェスティバル参加	第38回知多市産業まつりと同時開催された第13回健康・福祉フェスティバルにブース出展。団体概要や活動内容の掲示、各種チラシ・パンフレットなどを配布。	一般市民 多数	知多市市民体育館/10月23・24日
Ⅴ 市民活動支援事業				
(1)	サロン	市民カフェ「Ada-coda(あーだ・こーだ)」の運営(実践現場)	一般市民 多数 (4769人)	知多市市民活動センター/通年
(2)	知多市障がい児運動クラブ「ふいっと」	障害のある子どもたちが運動を通じて、地域の人々との関わりを深める活動の運営	知的障害のある児童120人・学生・一般市民136人	知多市市民体育館/通年
Ⅵ 知多市市民活動センター支援事業				
(1)	市民活動センター相談・支援事業 (知多市委託)	知多市市民活動センターの土日・夜間の管理、相談業務	一般市民・NPO関係者 多数	知多市市民活動センター/通年
(2)	市民活動センター清掃業務 (知多市委託)	知多市市民活動センターの館内清掃業務	一般市民 多数	知多市市民活動センター/通年
(3)	市民活動団体交流会 「WAIWAI交流会」	市民との地域活動・団体の出会いの場	一般市民 多数	知多市市民活動センター/4月27日 知多市青少年会館/2月6日
Ⅶ 会議関係				
(1)	通常総会	定款の定めるところによる通常総会開催	会員	知多市市民活動センター/年1回 (5月28日)
(2)	理事会	定款の定めるところによる理事会開催	理事	知多市市民活動センター/年6回 (5月12日、7月24日、9月25日、11月27日、1月22日、3月26日)
(3)	役員会	事業の企画運営等に活かす情報交換の場	理事	知多市市民活動センター/年4回 (4月28日、6月22日、10月29日、2月14日)

「人材派遣内容」

派遣先		事業内容
(1)	大学等講師派遣	愛知県内の大学への講師派遣
1	日本福祉大学	「サービスマーケティング」
2	名古屋短期大学	「ボランティアワーク」
3	あいちシルバーカレッジ	「地域社会とNPO」
(2)	行政・各種団体講師等派遣	
1	トヨタ車体セカンドライフ講座	「セカンドライフにおける生きがいの見つけ方」
2	中津川福祉医療ネットワーク	「市民の手でつくろう福祉拠点」
3	日本福祉大学原田ゼミ	「地域福祉サポートちたのネットワーク」
4	北九州市NPO交流研究会	「地域の連携からはじまる新しい公共づくり」
5	知多市体育協会	「NPOに関する勉強会」
6	全国民間ボランティア市民活動推進者企画戦略会議	「地縁型組織とNPOの連携」
7	まちづくりマンパワー人材活用講座(東海市)	「これから地域で活躍するために」
8	尾張旭市市民団体交流会	「活動団体向上の連携」
9	名古屋ボランティア連絡協議会	「ネットワークの意義」
10	全社協生活支援サービス調査研究事業	「地域と協働」
11	東浦町社会福祉協議会	「居場所づくりとNPO」
(3)	各種検討委員会等委員派遣	
1	めいきん生協・福祉基金制度検討委員会	
2	愛光園評議委員	
3	あいち未来塾運営委員	
7	一宮市市民が選ぶ市民活動支援制度審査委員会	
8	愛知県NPOと行政の協働に関する実務者会議	
9	知多市総合計画審議委員	
10	知多市都市計画マスタープラン策定委員	
11	知多市チャレンジちた経営プラン検討委員	
12	2市2町障害者自立支援協議会委員	
13	知多市市民活動センター運営会議	
14	知多市協働促進事業審査委員	
15	愛知県ソーシャルビジネスネットワーク調査検討委員会	

「法人情報掲載誌等」

1	福祉系NPOのすすめ～実践からのメッセージ～	ミネルヴァ書房
2	ソーシャルビジネス -地域に「つながり」と「広がり」を生み出すヒント-	経済産業省

22 年度決算報告



- 収支計算書
- 貸借対照表
- 財産目録
- 監査報告書

平成 2 2 年度
特定非営利活動事業会計 収支計算書

平成 2 2 年 4 月 1 日 から 平成 2 3 年 3 月 3 1 日 まで

特定非営利活動法人 地域福祉サポートちた

(単位 :円)

科 目	予 算	金 額	(決 算)	備 考
(資金収支の部)				
I 経常収入の部				
1 会費・入会金収入				
1) 入会金収入	100,000	90,000		
2) 年会費収入	800,000	747,000		
	900,000		837,000	正会員565,000 準会員143,000 拠点会員39,000
2 事業収入				
1) ヘルパー養成事業収入	12,545,000	13,428,875		詳細は事業報告書参照
2) NPO人材養成事業収入	3,408,000	4,324,275		詳細は事業報告書参照
3) バスツアー収入	2,300,000	2,742,225		詳細は事業報告書参照
4) 情報交流促進事業収入	250,000	182,500		詳細は事業報告書参照
5) 調査研究提案事業収入	3,300,000	5,362,969		詳細は事業報告書参照
6) 市民活動支援事業収入	3,250,000	3,780,550		詳細は事業報告書参照
7) 啓蒙啓発相談事業収入	1,000,000	1,016,202		詳細は事業報告書参照
8) 市民活動センター委託事業収入	8,004,600	7,883,400		詳細は事業報告書参照
事業収入合計	34,057,600		38,720,996	
3 補助金等収入				
1) 国・地方補助金収入		400,000		知多市・ふいっと活動補助金200,000HP講座200,000
2) 民間補助金収入		350,000		白寿会350,000
補助金収入合計			750,000	
4 寄付金収入				
1) 一般寄付金収入		145,576		
2) その他寄付金収入				
寄付金収入合計			145,576	
5 雑収入				
1) 受取利息配当金		3,004		
2) 雑収入		17,631		プロジェクター使用料・資料印刷代等
雑収入合計			20,635	
経常収入合計			40,474,207	
II 経常支出の部				
1 事業費				
1) ヘルパー養成事業費	9,157,850	9,920,584		詳細は事業報告書参照
2) NPO人材養成事業費	2,768,000	3,930,358		詳細は事業報告書参照
3) バスツアー事業費	1,886,000	1,914,606		詳細は事業報告書参照
4) 情報交流促進事業費	774,000	922,378		詳細は事業報告書参照
5) 調査研究提案事業費	3,300,000	5,133,752		詳細は事業報告書参照
6) 市民活動支援事業費	3,200,000	3,854,646		詳細は事業報告書参照
7) 啓蒙啓発相談事業費	800,000	988,345		詳細は事業報告書参照
8) 市民活動センター委託事業費	8,004,600	7,859,307		詳細は事業報告書参照
事業費合計	29,890,450		34,523,976	
2 管理費				
1) 給与手当	2,500,000	1,641,538		
2) 退職金		600,000		
3) 法定福利費	200,000	235,048		管理部門社会保険料・労働保険料
4) 福利厚生費	70,000	151,196		管理部門通勤費等・慶弔費・健康診断料
5) 旅費交通費	30,000	14,300		行政訪問・研修時交通費
6) 通信運搬費	30,000	35,242		管理部門電話代(NTT/ソフトバンクテレコム)
7) 交際費		26,000		御祝い生花代
8) 保険料	10,000	8,248		管理部門業務保険・動産保険
9) 消耗品費	200,000	163,394		管理部門消耗品・パソコン等
10) 租税公課	900,000	1,048,779		消費税(974300)住民税法人税均等割(70930)等
11) 施設利用料	12,000	16,740		管理部門施設利用料・理事会等会場使用料
12) 支払手数料	30,000	30,135		管理部門税理士・社労士報酬
13) 諸会費	80,000	81,000		団体年会費8件
14) 新聞図書費	100,000	60,974		日経新聞等

15) 印刷費		14,200			管理部門製版代金
16) 会議費	200,000	42,424			理事会・ミーティング費用
17) リース料	35,000	30,401			コピー機
18) 研修費	300,000	123,920			新潟研修等
19) 寄付金		500,000			東日本大震災義援金
20) 雑費	100,000	9,672			振込手数料等
21) 備品	100,000				
22) 予備費	100,000				
管 理 費 合 計	4,997,000		4,833,211		
経 常 支 出 合 計				39,357,187	
経 常 収 支 差 額				1,117,020	
Ⅲ その他資金収入の部					
1 固定資産売却収入					
1) 什器備品売却収入					
2 繰入金収入					
1) 特別会計繰入金収入					
3 借入金収入					
1) 長期借入金収入					
そ の 他 資 金 収 入 合 計				0	
Ⅳ その他資金支出の部					
1 固定資産取得支出					
1) 什器備品取得支出					
2 繰入金支出					
1) 特別会計繰入金支出					
3 借入金返済支出					
1) 長期借入金返済支出					
そ の 他 資 金 支 出 合 計				0	
当 期 収 支 差 額				1,117,020	
前 期 繰 越 収 支 差 額				9,551,125	
次 期 繰 越 収 支 差 額				10,668,145	
(正味財産増減の部)					
Ⅴ 正味財産増加の部					
1 資産増加額					
1) 当期収支差額			1,117,020		
2) 固定資産受贈額					
2 負債減少額					
1) 長期借入金返済額					
増 加 額 合 計				1,117,020	
Ⅵ 正味財産減少の部					
1 資産減少額					
1) 固定資産売却額					
2) 固定資産除却額					
3) 減価償却額			12,795		
2 負債増加額					
1) 長期借入金増加額					
減 少 額 合 計				12,795	
当 期 正 味 財 産 増 加 額				1,104,225	
前 期 繰 越 正 味 財 産 額				9,723,015	
正 味 財 産 合 計				10,827,240	

平成22年度 部門別収支計算書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

科目	合計(22年度)	管理	ヘルパー養成	人材育成	バスツアー	情報交流	調査研究	市民活動支援	啓蒙啓発相談	市民活動センター分
I 経常収入										
会費収入	837,000	798,000						39,000		
事業収入	38,720,996		13,428,875	4,324,275	2,742,225	182,500	5,362,969	3,780,550	1,016,202	7,883,400
補助金収入	750,000		200,000					200,000	350,000	
寄付金収入	145,576	144,300						1,276		
受取利息	3,004	2,752						252		
雑収入	17,631	17,631								
合計①	40,474,207	962,683	13,628,875	4,324,275	2,742,225	182,500	5,362,969	4,021,078	1,366,202	7,883,400
II 経常支出										
給与手当	17,082,241	1,641,538	2,013,091	1,323,904	355,313	265,298	3,862,462	624,250	256,125	6,740,260
退職金	600,000	600,000								
法定福利	1,678,915	235,048	218,259	167,891	83,946	50,367	83,946	83,946	83,946	671,566
福利厚生	620,734	151,196	71,853	59,982	11,760	13,371	79,861	26,488	12,274	193,949
講師料	6,145,853		4,380,280	835,148	20,000		536,666	66,759	307,000	
旅費交通費	529,265	14,300	142,560	65,985	5,650	17,420	114,760	43,500	115,790	9,300
通信費	699,729	35,242	74,264	66,008	26,098	259,485	139,218	19,071	47,721	32,622
交際費	62,383	26,000	19,325			3,400		4,500	3,000	6,158
保険料	121,967	8,248	32,999	6,912	29,136	1,768	2,946	13,446	2,945	23,567
燃料	42,851			5,544	37,307					
消耗費	972,731	163,394	76,499	367,453	31,282	38,965	104,011	21,204	75,072	94,851
租税公課	1,061,228	1,048,779		1,400			800	49	200	10,000
バス経費	1,290,850			47,425	1,243,425					
施設利用料	445,907	16,740	116,540	59,115	15,480	12,960	20,940	184,242	7,920	11,970
支払手数料	301,350	30,135	54,243	45,202	24,108	30,135	51,229	15,068	21,095	30,135
諸会費	81,000	81,000								
新聞図書費	103,974	60,974		3,000			40,000			
印刷費	337,960	14,200	32,040	258,680	3,640	1,800	21,240	3,320	2,880	160
広告宣伝費	12,000			12,000						
会議費	116,036	42,424		3,368		20,000	1,760	13,991	30,573	3,920
リース料	304,012	30,401	54,722	45,602	24,321	30,401	51,682	15,201	21,281	30,401
研修費	303,760	123,920	3,280			176,560				
テキスト	1,274,505		1,274,505							
実習費	1,437,946		1,334,246	103,700						
委託料	120,000			100,000			20,000			
諸謝金	345,000			345,000						
寄付金	500,000	500,000								
雑費	45,603	9,672	21,878	7,039	3,140	448	2,231	224	523	448
Ada-coda原価	2,719,387							2,719,387		
計②	39,357,187	4,833,211	9,920,584	3,930,358	1,914,606	922,378	5,133,752	3,854,646	988,345	7,859,307
①-②	1,117,020	-3,870,528	3,708,291	393,917	827,619	-739,878	229,217	166,432	377,857	24,093

平成 2 2 年度
特定非営利活動事業会計 貸借対照表

平成23年3月31日 現在

特定非営利活動法人 地域福祉サポート ちた

(単位 :円)

科 目 ・ 摘 要	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金・預金	6,277,271		
前払費用	81,340		
未収入金	8,101,794		
流 動 資 産 合 計		14,460,405	
2 固定資産			
工具器具備品	3,116,178		
減価償却累計額	△ 3,043,673	72,505	
電話加入権		86,590	
固 定 資 産 合 計		159,095	
資 産 合 計			14,619,500
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	1,886,565		
前受金	676,000		
預り金	602,265		
未払法人税等	70,930		
未払消費税等	556,500		
流 動 負 債 合 計		3,792,260	
2 固定負債			
固 定 負 債 合 計		0	
負 債 合 計			3,792,260
III 正味財産の部			
前 期 繰 越 正 味 財 産		9,723,015	
当 期 正 味 財 産 増 加 額		1,104,225	
正 味 財 産 合 計			10,827,240
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計			14,619,500

注記 1 重要な会計方針

- ① 資金の範囲は、現金預金及び短期金銭債権債務(借入金を除く)としています。
- ② 固定資産の減価償却方法は以下のとおり
有形固定資産 : 定率法(ただし建物は定額法) 無形固定資産 : 定額法
少額減価償却資産 : 一括償却

2 次期繰越収支差額の内訳は次のとおり

科 目	前 期 末 残 高	当 期 末 残 高
現金・預金	6,632,739	6,277,271
仮払金		
前払費用	28,370	81,340
未収入金	5,750,214	8,101,794
合 計 ①	12,411,323	14,460,405
未払金	2,169,755	2,513,995
預り金	264,443	602,265
前受金	426,000	676,000
合 計 ②	2,860,198	3,792,260
次 期 繰 越 収 支 差 額 ① - ②	9,551,125	10,668,145

平成 2 2 年度
特定非営利活動事業会計 財産目録

平成23年3月31日 現在

特定非営利活動法人 地域福祉サポート ちた

(単位 :円)

科 目 ・ 摘 要		金 額			
I 資産の部					
1 流動資産					
現金(本部)		141,981			
現金(あーだこーだ)		147,428			
普通預金	UFJ銀行 知多支店(1413965)	3,875,950			
普通預金	UFJ銀行 知多支店(1350191)	1,040,819			
普通預金	UFJ銀行 知多支店(1051460)	134,397			
普通預金	JA知多 新知支店(0106894)	159,452			
普通預金	知多信用金庫 知多支店	173,090			
通常貯金	郵貯銀行	554,244			
振替用口座	郵貯銀行(85071)	49,910			
現金預金合計			6,277,271		
前払費用	会議室等利用料23年度分		81,340		
未収入金					
	市民活動相談支援費 知多市	1,674,600			
	市民活動センター日常清掃費 知多市	227,100			
	市民活動センター夜間管理費	304,500			
	男女共同参画行動計画委託料 知多市	1,299,900			
	市民活動状況調査委託料	999,600			
	梅まつり調査委託料 知多市	994,999			
	ヘルパー講座補助金 知多市	200,000			
	市民活動アドバイザー委託料 一宮市	120,000			
	市民協働サポート業務委託 東海市	206,844			
	NPO雇用調査委託料 ボランティアネイバース	600,510			
	協働コーディネート委託料 長久手町	271,950			
	まちづくり人材育成委託料 知多市	336,791			
	ふいつと活動補助金 知多市	200,000			
	NPO講座委託料 一宮市	585,000			
	バスツアー費用 東浦町	80,000			
未収入金合計			8,101,794		
流動資産合計				14,460,405	
2 固定資産					
工具器具備品	別紙備品台帳		72,505		
電話加入権	0562-33-8658	41,790			
	0562-33-1631	44,800			
電話加入権合計			86,590		
固定資産合計				159,095	
資産合計					14,619,500

Ⅱ 負債の部					
1 流動負債					
未払金					
	3月分給与	1,369,025			
	3月分通勤費	53,300			
	ヘルパー2級実習費 40名分	408,000			
	製版代金(3月分) 知多市	16,240			
	NPO雇用調査報告書20冊	40,000			
	当期確定消費税額	556,500			
	当期確定住民税額	70,930			
未払金合計			2,513,995		
前受金					
	23年度年会費前受金	20,000			
	23年度シェフ登録料	6,000			
	23年度H2級受講料	650,000			
前受金合計			676,000		
預り金					
	源泉所得税	291,500			
	社会保険料3月分	289,165			
	市県民税	21,600			
預り金合計			602,265		
流 動 負 債 合 計				3,792,260	
2 固定負債					
固 定 負 債 合 計				0	
負 債 合 計					3,792,260
正 味 財 産					10,827,240

監査報告書

特定非営利活動法人地域福祉サポートちた
代表理事 岡本一美 殿

特定非営利活動法人地域福祉サポートちたの平成 22 年 4 月 1 日から、平成 23 年 3 月 31 日までの事業年度の計算書類、すなわち収支計算書、貸借対照表および財産目録、ならびに関係帳簿、証拠書類の監査を行いました。

監査の結果、上記書類が一般に公正妥当と認められる特定非営利活動法人の会計基準及び定款に準拠しているものと認められること、ならびに適正にして正確に表示されているものであることを認め、ここに報告いたします。

平成 23 年 5 月 12 日

特定非営利活動法人地域福祉サポートちた

監事 佐々木幸雄

監事 山崎紀恵子

23 年度事業計画/予算



- 事業計画書
- 収支予算書

- 1 23年度事業計画
- 2 23年度収支予算

平成23年度

特定非営利活動法人 地域福祉サポートちた

事業計画書

期間：平成23年4月1日から平成24年3月31日

一、活動方針

1、設立の初心を貫く

一より多くの人々が社会のあり方と市民の役割を深く考えるきっかけをつくる一

- ① 現場で活躍できる人材育成を行う
地域福祉を担う市民としての意識の高い人材を養成する。
- ② 現場の課題の解決をめざす
事業の企画や運営にあたり、会員団体やまちづくりの現場ニーズと実態を踏まえ、実践的な課題解決に結びつくことをめざす。
- ③ 基礎自治体ごとのネットワーク形成を図る
会員団体の情報交流に努め、市町ごとに地域住民をはじめ、学識者、専門家、行政、企業などの参加・協力を図り、双方向の交流と対話を行うことを支援する。
- ④ 市民意識を醸成し、社会の主体としての市民形成をめざす
様々な実践活動、交流・ネットワーク形成などを通じて、市民が社会の主体として活躍するために寄与する。

2、状況認識・課題認識

- ① 東日本大震災の甚大な被害からの復興は、エネルギー問題をはじめとする新しい社会システムの構築なくしては支えられない。超高齢社会に際し、持続可能な地域づくりとして「新しい公共」が求められる中、NPOを支える社会的な仕組みづくりが急がれる。
- ② 被災地をはじめ、厳しさ極まる雇用情勢の中、若い世代が自信と希望の持てる社会づくりに寄与する、新たな働き方の在り方が問われている。

3、2011年度取り組み

- ① 協働ロードマップに描いた「地域の居場所」をはじめとした、インフォーマルサービスの創出を支援する。
- ② 「地域の居場所」で、子どもや若者も「ゆるやかな自信」を育めるよう、各主体や地域の連携をすすめ、場づくり推進の核となるネットワークをつくる。
- ③ 知多地域の中間支援センターの情報交換に努め、支援力アップにつなげる。
- ④ インターンシップやサービ斯拉ーニングをはじめとした、新たな教育プログラムの創出に努める。
- ⑤ 知多地域の被災避難者に対し、生活支援サービスの提供や就労支援を行うしくみを検討する。

4、組織運営

- ① 人のマネジメント； 多様な人材、経験の蓄積・定着
長く安心して働いてもらえることのできる事務局体制を作るとともに、事業企画や内容を豊かにするために、広範なネットワークを活用する。
- ② 情報交流； 会員や社会全体の課題認識、対外的な責任を果たす
会員ニーズに応えること、社会全体のためになる取組みについて、会員やNPO全体と意見交換し情報共有を促進する。
- ③ 資金マネジメント； 会費・寄付金の拡大と固定的な契約事業の拡大
事業開発や経営安定のための資金づくりは大きな課題であるが、収益率の拡大を進めながら資金獲得に努力する。
- ④ 機関・会議運営
役員会により、理事・監事・そのほかの関係者が現場発案型の企画を検討するとともに、方針決定機関としての理事会の機能を高め、スタッフミーティングをはじめとする小刻みな事務局会議を開催し、的確な情勢判断、方針づくり、事業実施を進める。

二、特定非営利活動

	収入予定額	支出予定額
総合計	40,139,000 円	36,476,000 円
(うち公共事業)	19,173,000 円	18,373,000 円
(うち民間契約事業)	4,940,000 円	3,718,800 円
(その他自主事業)	16,026,000 円	14,384,200 円
収支差額	3,663,000 円	

*網掛けは、企画提案予定の助成金・委託事業

1.人材養成・研修事業						24,345,000 円	20,090,000 円
事業項目／事業名	事業内容	開催時期	開催地・会場等	受益対象者	従事予定者	収入予定額	支出予定額
1-1 福祉資格講座						18,360,000 円	15,024,000 円
① ヘルパー2級養成講座	訪問介護従事者の養成	年間1回	半田市・知多市	一般80人	役職員等2名	5,200,000 円	4,000,200 円
② ヘルパー2級養成講座		年間1回	日本福祉大学	学生40人		2,560,000 円	1,868,800 円
③ ヘルパー2級養成講座		年間1回	半田社協	一般25人		1,040,000 円	772,000 円
④ 通信制ヘルパー2級養成講座		年間1回	名古屋短期大学	学生20人		1,160,000 円	1,005,000 円
⑤ 行動援護従事者養成講座	障害者のための行動援護従事者養成	年間4回	知多市等	一般70人		1,400,000 円	1,022,000 円
⑥ 介護福祉士対策講座	介護福祉士受験のための対策講座	年間1回	知多市等	一般10人		400,000 円	310,000 円
⑦ 介護福祉士対策講座		年間1回	知多市等	一般20人		200,000 円	146,000 円
⑧ ヘルパー2級養成講座(基金訓練)	訪問介護従事者の養成	年間1回	名古屋市	一般30人		6,400,000 円	5,900,000 円
1-2 NPO現場見学バスツアー						2,300,000 円	1,714,000 円
① 定例バスツアー	毎月1回会員団体の現場を4か所見学するバスツアー	毎月1回	知多市発着	一般150人	役職員等2名	750,000 円	603,000 円
② オプションバスツアー	依頼者のニーズに応じてプログラムをつくるバスツアー	随時	各地	一般310人		1,550,000 円	1,111,000 円
1-3 NPO人材育成事業						2,066,000 円	1,873,000 円
① 地域の居場所 立ち上げ指南塾(モリコロ)	NPOの実践者を講師に「地域の居場所」の運営や地域貢献活動について学ぶ講座	通年	知多市	関係者20人	役職員等3名	1,000,000 円	1,250,000 円
② 東海東京証券新人研修	新人社員研修として、福祉NPOの現場を体験し、サービスの基本姿勢を身につける	年間2回	各地	東海東京証券新入社員80名	役職員等3名	300,000 円	185,000 円
③ NPOスタッフ研修	「ミッションの共有」等 職員の研修機会	随時	知多市	職員15名	役職員10名	20,000 円	25,000 円
④ 生活支援員研修	現在の学校における子どもたちの現状と課題を整理し解決策を考える研修講座	年間1回	知多市	阿久比町生活支援員一般20人	役職員等3名	350,000 円	350,000 円
⑤ 成年後見講座運営	成年後見制度の普及・啓発のための講座	年間2回	大府市美浜町	一般60人	役職員等2名	296,000 円	12,000 円
⑥ 知多市まちづくり人材育成事業「新・大人の学校」	団塊の世代を中心に地域活動の担い手を育成する講座	通年	知多市	一般30人	役職員等2名	100,000 円	51,000 円
1-4 NPO人材育成事業(受託契約事業)						1,619,000 円	1,479,000 円
① サービスラーニング	学生に自発的な体験学習を提供するための現場調整を行い、十分な振り返りとともに学生の成長を促す	通年	日本福祉大学	学生65人	役職員等2名	800,000 円	600,000 円
② インターンシップ	名古屋短期大学の学生に就業体験の機会を与え、NPOへの理解を促す	後期	当法人事務所	学生6人	役職員等1名	120,000 円	60,000 円

③ インターンシップ	愛知県若手職員にNPOの就労体験を通して、NPOへの理解を深め、協働を推進する基盤をつくる	通年	当法人事務所	愛知県2年目職員10人	役職員等1名	0 円	100,000 円
④ インターンシップ	基礎自治体職員にNPOの就労体験を通して、NPOへの理解を深め、協働を推進する基盤をつくる	通年	大府市	市町職員2人	役職員等1名	0 円	20,000 円
⑤ 知多市協働のまちづくり事業	NPOに関する基礎講座を行い、活動者を増やし、団体運営の課題を解決する	事業契約期間	知多市	一般50人	役職員等2名	199,500 円	199,500 円
⑥ 知多市協働支援事業	コミュニティの課題を解決するために、NPOとの出会いの場を設置し、連携を促す	事業契約期間	知多市	コミュニティ役員20人	役職員等2名	199,500 円	199,500 円
⑦ 長久手町協働コーディネーター事業	長久手町まちづくりセンターにアドバイザーを派遣し、協働提案事業や団体運営等の相談に応じる。	事業契約期間	長久手町	当該NPO及びその関係者	役職員等3名	300,000 円	300,000 円

2. 情報交流促進事業						220,000 円	720,000 円
事業項目／事業名	事業内容	開催時期	開催地・会場等	受益対象者	従事予定者	収入予定額	支出予定額
2-1 情報提供事業						0 円	430,000 円
① ホームページ	ホームページを通じて、NPOやまちづくりに有益な情報を提供する。	通年	当法人事務所	まちづくりに関心を持つ市民、NPO、企業、行政等	役職員等1名	0 円	50,000 円
② 会報発行	会報を通じて、NPOやまちづくりに有益な情報を提供する。	通年	当法人事務所	まちづくりに関心を持つ市民、NPO、企業、行政等	役職員等2名	0 円	380,000 円
2-2 情報交流事業						220,000 円	290,000 円
① 会員交流会	会員相互の懇親を図り、情報交換に機会をもつことで、NPOの発展に寄与する	通年	知多市	団体会員・個人会員	役職員等3名	20,000 円	40,000 円
② 会員リーダー研修	会員団体の代表者等による、地域福祉の先進地への視察研修を行う	年間1回	各地	団体会員・個人会員	役職員等3名	200,000 円	230,000 円
③ NPOと行政の意見交換会	テーマを設定し、関係者の協議の場を設営することで、地域の協働を推進する	通年	知多市	NPO・行政	役職員等3名	0 円	10,000 円
④ NPO支援センター情報交換会	センター相互の懇親を図り、情報交換の機会をもつことで、NPOの発展に寄与する	通年	半田市	NPO支援センター	役職員等2名	円	10,000 円

3. 研究調査・提言事業関係						3,000,000 円	3,000,000 円
事業項目／事業名	事業内容	開催時期	開催地・会場等	受益対象者	従事予定者	収入予定額	支出予定額
3-1 NPO・まちづくり研究調査提言事業(受託契約事業)						3,000,000 円	3,000,000 円
① 新しい公共支援事業	県内NPO法人に関する活動基盤強化を促進する	通年	知多市	愛知県及び県民	役職員各回2名	3,000,000 円	3,000,000 円
3-2 各種審議会・審査会・委員会等参画						0 円	0 円
① 2市2町自立支援協議会	東海市・知多市・東浦町・阿久比町の障がい者支援機関のネットワーク会議	通年	2市2町	2市2町市民	役職員各回1名	0 円	0 円
② 一宮市市民が選ぶ市民活動支援制度審査会	一宮市1%支援制度の応募事業を審査する	通年	一宮市	一宮市および一宮市民	役職員各回1名	0 円	0 円
③ 愛知県知多警察署協議会	警察署の業務運営について相互理解を深め、改善の提言につなげる	通年	知多市	知多市および知多市民	役職員各回1名	0 円	0 円
④ 愛知県NPOと行政の協働に関する実務者会議	NPOと行政の協働に関わる課題を継続的に検討する	通年	知多市	愛知県及び県民	役職員各回1名	0 円	0 円

4. 啓蒙啓発相談事業						570,000 円	380,000 円
事業項目／事業名	事業内容	開催時期	開催地・会場等	受益対象者	従事予定者	収入予定額	支出予定額
4-1 講師派遣事業						200,000 円	10,000 円
① NPO・まちづくり講師派遣	大学、市民団体や行政・企業などが行うNPOやまちづくり講座等に講師を派遣する。	通年	当該地域の会場。	学生、NPOやまちづくりに関心を持つ市民、NPO、企業、行政等	役職員等10名	200,000 円	10,000 円
4-2 NPO・まちづくり相談事業						0 円	0 円
① まちづくり相談事業	住民が主体となり地域が協働して行うまちづくり活動推進のための相談やコーディネートを行う。	通年	当法人事務所及び公共施設など	まちづくりに関心を持つ行政、市民、企業等	役職員等10名	0 円	0 円
4-3 NPO・まちづくり相談事業(受託契約事業)						370,000 円	370,000 円
① 東海市NPOアドバイザー事業	東海市市民活動センターにアドバイザーを派遣し、協働提案事業や団体運営等の相談に応じる。	事業契約期間	東海市	当該NPO及びその関係者	役職員等5名	250,000 円	250,000 円
② 一宮市NPOアドバイザー事業	東海市市民活動センターにアドバイザーを派遣し、協働提案事業や団体運営等の相談に応じる。	事業契約期間	一宮市	当該NPO及びその関係者	役職員等2名	120,000 円	120,000 円

5. 市民活動支援事業						12,004,000 円	12,286,000 円
事業項目／事業名	事業内容	開催時期	開催地・会場等	受益対象者	従事予定者	収入予定額	支出予定額
5-1 市民交流促進事業						3,300,000 円	3,582,000 円
① 市民カフェAda-coda	ワンディシェフシステムのコミュニティレストランを運営する	通年	知多市市民活動センター	市民等	担当者2名	3,000,000 円	3,342,000 円
② 運動クラブふいと	知多市の障がいのある人の運動クラブ運営を支援する	月1回	知多市体育館	知多市の障害のある人	役職員等1名	300,000 円	240,000 円
5-2 市民活動支援事業(受託契約事業)						8,704,000 円	8,704,000 円
① 知多市市民活動センター相談・支援	相談・情報収集提供・場所の提供等市民活動の推進に必要な業務	事業契約期間	知多市市民活動センター	市民	役職員等5名	6,669,000 円	6,669,000 円
② 知多市市民活動センター清掃事業	市民活動センター清掃・器具 資材の補充	事業契約期間	知多市市民活動センター	市民	役職員等5名	875,000 円	875,000 円
③ 知多市市民活動センター夜間管理事業	市民活動センター夜間利用時の管理業務	事業契約期間	知多市市民活動センター	市民	役職員等5名	460,000 円	460,000 円
④ 知多市市民活動センターホームページ開設事業	市民活動センターの情報発信機能充実のためのホームページ作成	事業契約期間	知多市市民活動センター	市民	役職員等4名	700,000 円	700,000 円

三、その他の事業について

実施しない

平成23年度収支予算書

平成23年4月1日～平成24年3月31日

特定非営利活動法人 地域福祉サポートちた

科目	予算案	備考
I 収入の部		
1 会費・入会金収入 入会金収入	100,000	10,000×5 5,000×10
年会費収入	800,000	30,000×1 15,000×30 5,000×52 3,000×20
計	900,000	
2 事業収入		
1.人材養成研修事業 福祉資格講座	18,360,000	ヘルパー講座(基金訓練含む)
バスツアー	2,300,000	バスツアー
NPO人材育成	3,685,000	居場所立ち上げ指南塾等
2.情報交流促進事業	220,000	交流会
3.調査研究・提言事業	3,000,000	新しい公共支援事業
4.啓蒙啓発相談事業	570,000	NPOアドバイザー事業
5.市民活動支援事業	3,300,000	あーだ・こーだ ふいっと
6.知多市市民活動センター支援事業	8,704,000	市民活動センター業務
計	40,139,000	
3寄付金収入	100,000	
4雑収入	0	
5助成金	400,000	ヘルパー講座・ふいっと
当期収入合計	41,539,000	
II 支出の部		
1 事業費支出		
1.人材養成研修事業		
福祉資格講座	15,024,000	ヘルパー講座(基金訓練含む)
バスツアー	1,714,000	バスツアー
NPO人材育成	3,352,000	居場所立ち上げ指南塾等
2.情報交流促進事業	720,000	交流会 サポートニュース発行
3.調査研究・提言事業	3,000,000	新しい公共支援事業
4.啓蒙啓発相談事業	380,000	講師派遣・NPOアドバイザー
5.市民活動支援事業	3,582,000	あーだ・こーだ ふいっと
6.知多市市民活動センター支援事業	8,704,000	市民活動センター業務
計	36,476,000	
2 管理費	2,520,000	
人件費	280,000	社会保険・労働保険ほか
法定福利費	456,000	通勤費 健康診断費用 中退共
福利厚生費	15,000	
旅費交通費	27,000	
通信運搬費	30,000	
交際費	6,000	
保険料	30,000	事務用品、紙等
消耗品費	1,000,000	消費税・法人税
租税公課	11,000	
施設利用料	30,000	
支払手数料	70,000	法人団体加入年会費等
諸会費	78,000	
新聞図書費	15,000	製版代金
印刷費	105,000	打ち合わせ、諸会議
会議費	30,000	コピー機、
リース料	200,000	スタッフ、役員研修
研修費	50,000	
備品	10,000	
雑費		
計	4,963,000	
3 予備費	100,000	
当期支出合計	41,539,000	
当期収支差額	0	

平成 23 年度 特定非営利活動法人地域福祉サポートちた役員名簿

役職	氏名	所属
理事	松 下 典 子	特定非営利活動法人地域福祉サポートちた 理事
理事	矢 澤 久 子	特定非営利活動法人ネットワーク大府 理事長
理事	鈴 木 信 重	特定非営利活動法人ゆいの会 代表理事
理事	村 上 眞 喜 子	特定非営利活動法人りんりん 理事長
理事	安 井 洋 子	特定非営利活動法人もやい 代表理事
理事	市 川 美 千 代	特定非営利活動法人あゆみ 理事長
理事	竹 田 加 津 子	特定非営利活動法人あかり 代表理事
理事	田 上 光 大	元愛知県職員
理事	出 口 晋	特定非営利活動法人ゆめじろう 理事長
理事	村 居 多 美 子	特定非営利活動法人介護サービスさくら 理事長
理事	山 本 勝 子	日本福祉大学知多半島総合研究所 副所長
理事	榊 原 弘 美	特定非営利活動法人菜の花 理事長
理事	三 島 知 斗 世	特定非営利活動法人ボランタリーネイバーズ 調査研究部長
理事	市 川 幸 夫	特別養護老人ホーム瑞光の里 施設長
理事	今 井 友 乃	特定非営利活動法人知多地域成年後見センター 事務局長
理事	岡 崎 佳 子	日本福祉大学社会福祉実習教育研究センター 事務室長
理事	岡 本 一 美	特定非営利活動法人地域福祉サポートちた 代表
理事	竹 内 美 詠 子	特定非営利活動法人地域福祉サポートちた 事務局
監事	山 崎 紀 恵 子	特定非営利活動法人絆 代表理事
監事	佐 々 木 幸 雄	特定非営利活動法人東海市在宅介護家事援助の会ふれ愛 理事長

(順不同、敬称略)